



「時代BOOKS」の展示をして 思うこと

中野正道

今回は、文庫本で娯楽に徹した軽い時代小説の面白さを紹介しました。

剣豪物、捕物帳など、分野別に表紙のコピーと内容紹介をしました。「結構、反応がいいよ！」と言われて、いまは、ま、良かったかな。少しは女性の時代小説ファンが、増えるかなと期待しています。

時代小説には、史実に忠実な歴史小説と、フィクションを加えた時代小説があると勘違いをしている人がいることに驚きました。史実に忠実な歴史小説はありません。小説は学問書ではありません。すべて、作者が思い入れた内容です。NHK大河ドラマも、作者の意図に沿ったフィクションドラマです。考えて見て下さい。その時代に生きていたわけではないのに、見ていたような剣劇シーン・戦闘シーンを書けるわけがありません。ある作家さんが、ある藩の古文書を読んでいて、たとえば、「何々某、何々遺恨にて、刃傷に及び、切腹」といった、一行の記述を見つけると、それに、枝葉を付けて、十分、小説になると言っていました。



持続可能な地域の実現に向けた取り組み ～SDGsってなあに？～ ちりり村の取り組み

第2弾続編

一月三十日(土)と二月二十五日(木)

2015年国連サミットで全会一致で採択されたSDGs(エスディー・ジーズ、持続可能な開発目標)は2030年までに実現する目標。今注目されている脱炭素燃料の導入などの地球温暖化対策はじめ17のゴールに向けて指針が明示されている。

今回は自給自足の観点から農業を中心に第2弾の続編として、国連採択の前からSDGsに沿う取り組みをされている(株)サラダコスモに照準をあて、ちりり村の活動紹介を展示しました。

なお、当期間中プロッコーリースプラウトの種を提供頂き来館者に体験して頂きました。



第122回ミニゼミ 企画展示関連

◇テーマ…サラダコスモの野菜ビジネスと国連推奨SDGsについて

◇開催日…3月6日(土) 13時30分

◇開催場所…中央公民館 ホール

◇講師…(株)サラダコスモ代表取締役社長

中田智洋さん

私のホームステイ

非常事態宣言の中、どう過ごされましたか？

図書館くらぶの方々に聞いてみました。

★この機会にと私が取り組んだのは乾物類の整理。乾物はもどす時間がかかるので忙しさを理由にためこんでいた。切り干し大根、ひじき、豆類、高野豆腐、干しぜんまい、イモ殻、干しきのこなど、こんなにあるとは思わなかった。一日一品ずつ献立に加えてかなり片づけることが出来た。

三日に一冊くらいペースでの読書も。

(桑澤芳江)

★GoToブックと言いたいのですが、ポタン、指輪、イヤリング、鉱石などでブローチ作りを楽しんでいました。不用品が輝きを少し取り戻したかな？キラキラ光るものを集めて貼って、ピンチも沢山作りました。

本棚にある本を読み返しました。『水の手帳』『受け月』『ああ言えばこう食う』『癌と私の共同生活』『ラブレス』

(小森紀子)

★地域の新クラブができたので、そのクラブの入り口に掲げる看板を書いていました。

かぶを10kg甘酢漬けに、大根をべったら漬けとつぼ漬けにしました。はじめてやってみて楽しかった。

(藤原静子)

私のホームステイ ―続き―

★学校が休みになった時は孫を5人連れて、いくつかの公園で、散歩やサッカー、バドミントン、なわとびをしたり、夜明けの森、城山などへドライブに行った。サイクリングにも出かけた。庭でミニキャンプもした。孫たちがTVやゲームに夢中になっているのを見てると、イライラする。

姉が足が悪くて外出ができないので、3日おきくらいに訪問し、話し相手になり2時間くらい付き合う。

大掃除が早めに来て12月の暮はドタバタしなくて済んだ。

新聞はよく読むようになった。

読んだ本は、藤沢周平の『蝉しぐれ』、『闇の穴』。藤沢周平の娘が書いた『父藤沢周平との暮らし』など。
(渡辺つや)



こんな本を読みました

『ヒナギクのお茶の場合』 多和田葉子

『歌にわたしは泣くだらう』 永田 和宏
(松原 槿子)

『万葉集と日本の夜明け』 半藤一利

『日本のいちばん長い日』の著者で、近現代史に関する多くの書を出された半藤一利は今年一月十二日、九十一歳で亡くなられた。

今回、『万葉集と日本の夜明け』を読んだ。

著者は東大文学部国文科で卒論に万葉集を取り上げることにしていたが、同級生に中西進がいて、急遽『堤中納言物語』に変更した。しかし万葉集への愛着から昭和四十六年と五十一年、当時連載されたものを五十六年に書き上げ、出版された。

この本は東歌、防人の歌や相聞歌などをとりあげ、日本のあけぼの期前後の激動の時代を多角的な視点でとらえています。現代感覚で読むことができる本でした。

坂下診療所 名誉院長

『テッチンの四季』 高山哲夫

著者の少年期のことが二十九に及ぶ短編に納められている。私は同年代でふるさとと近く、三九郎まつりやスケートなどには懐かしさがこみあげてきた。著者の観察力の豊かさに感銘し、また経済成長前のふるさとの情景を感じた一冊です。
(桑澤宏康)

三月の企画展示

◇テーマ…東京2020オリンピック・パラリンピック

◇四月・五月企画展示「JICA

特集」

・ミニゼミ5月

元JICA海外

協力隊員による

「国際協力活動

報告」を予定。

◇公民館図書室の企画展示 (3月)

☆坂下図書室 「娯楽としての時代小説」

☆山口図書室 「持続可能な地域の実現の為に

の取り組み第二弾〜農業振興〜」

☆川上図書室 「未来の為に今選ぼう

『COOL CHOICE (賢い選択)』

☆福岡図書室 「古代エジプト展に寄せて」

☆付知図書室 「持続可能な地域の実現の為に

の取り組み第一弾〜森林編〜」

元気な街には 充実した図書館あり！

素敵な街には 素敵な図書館があり！

図書館は0歳〜100歳みんなの居場所です！

図書館くらぶ 会長 桑澤宏康

TEL (66) 0249

